

27 週 私たちの義務の要約

質問 41. 道德法が、どこに暗黙的に要約されていますか。

答え I 道德法は、十戒に暗黙的に要約されてあります。

質問 42. 十戒の要旨は何ですか。

答え I 十戒の要旨は、私たちが心を尽くし、命を尽くし、力を尽くし、思いを尽くし、主・神を愛すること、隣人を自分自身のように愛することです。

解説

十戒

神は、シナイ山で契約を更新させながら、イスラエルの民の神となられ、イスラエルは神の民となるようにしました。神は、ご自分の民が、必ず守るべき義務を直接、手で、石の板に書き十戒として与えました。それも二回も書いて渡しました（出 32:16、34:1）。それは、永続的な性格を持っていることを見せています（詩 3:8）。

キリストの使徒たちは十戒について、人々が守るべき義務を含めていることと語っています（マルコ 10:19、ロマ 13:9）。十戒は、信仰と実践の側面において、

神のみことば全体を要約したことだと言えます。十戒は、私たちが守るべき、神と人々に対する義務であり、私たちのすべての行為に対する指針となります。そして、私たちのすべての領域で、つまり、言葉と行動において完全な従順を求められます。

神の愛

十戒の第一の原理は、神を愛することです。愛は、私たちの感情の中で聖なる熱情を湧き起こさせます。それゆえ、神を愛するというのは、私たちの思いと心を尽くして愛することです（詩 119:10、1 テモテ 1:5）。また、神に対しては最高の尊敬と渴望を示すことです（マタイ 10:37、ルカ 14:26、詩 73:25、イザヤ 26:8-9）。

神を愛するためには、先ず、神に対する知識があるべきです。聖霊が、私たちの心に神を知る知識を照らし、神の美しさ・知恵・聖・慈悲とを知るようにさせ、私たちの心が神を愛すること一杯になるようにさせます。このように、神に対する知識がなければ神を愛することはできません。知識のない愛は偶像と同じです。ですから、必ず、神に対する知識が充満でなければなりません。

神を愛するとは、神を楽しむことです。つまり、私たちの目的と追求する所が、この世と肉を愛することから、恵みによって変えられてこそ、神を愛することができます。神を愛するに当たって、心が分かれてはなりません。神と罪との間に分けられてはなりません。母が子共と分けられないように、私たちが神を愛することにおいて、心が分けられません。自分の目的を成し遂げるために、神を愛してはなりません。偽善者たちは、神がぶどう酒と穀物をくださるから、その方を愛します。私たちは神を、私たちのすべての力の限りで愛すべきです。私たちのできる限りを、すべてに尽くすことです。

ここでの愛は、労苦と共なう熱情です。私たちが神を愛することにおいて、そ

の何よりも先に愛すべきであり、持続的に愛することです。従って、私たちがこのように神を愛するようになれば、目に見える表紙などが現れるようになります。神に似ようとする渴望と、神と交際することの楽しみと、神が定めた恵みの手段などを愛し、神の栄光のためにすべてのことをするようになります。そして苦難が来ても、神によって満足するようになります。また、神が憎むことを憎み、行わず、神のために喜んで犠牲までも、奉仕までもするようになります。

隣人愛

十戒の第二の原理は、隣人を自分の体のように愛することです。これは、人の地位が高くても、低くても、あるいは、貧乏でも富んでいても関係なく、すべての人は、私たちの隣人になることを語っています。つまり、すべての人に、普遍的な愛を示すようになるということです。

私たちは、本質上、自分自身を愛するようになっています。従って、隣人を自分の体のように愛しなさいとは、私たちが自分にするように、真実さと確かな愛によって隣人を愛しなさいということです（マタイ 7:12）。私たちが隣人を愛する時、神を恐れる中で行うべきです（詩 15:4）。隣人を愛することは、隣人の有益になることを望み、彼らの体と靈魂に対して善を行うことです（ガラテヤ 6:10、1 ヨハネ 3:18）。また、自分を低くし、相手を高めることです（ピリピ 2:3）。私たちは、言葉と行動によって隣人に害を与えてはならない、特に、聖徒には善を行うことです（詩 16:3）。隣人を愛することは、私たちに平安をもたらしてくれます（Ⅱコリント 13:11）。